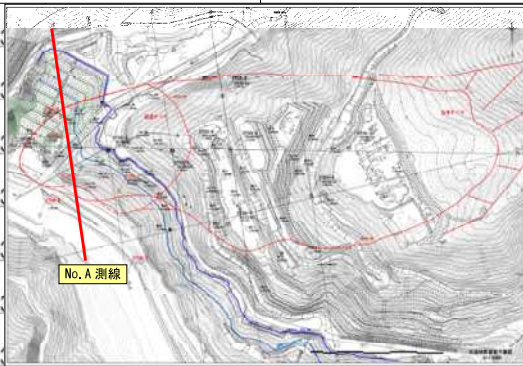


1. 設計条件の確認

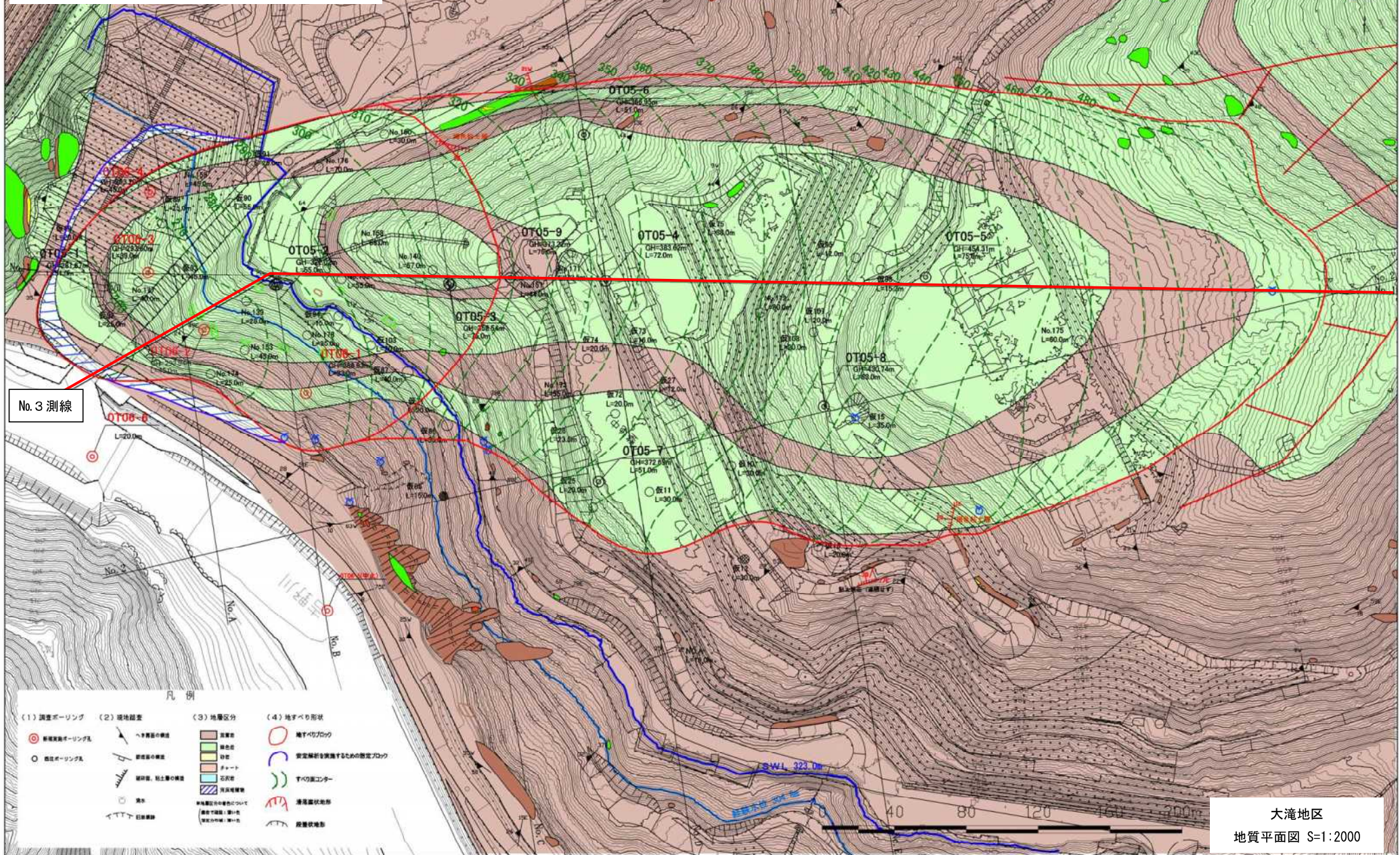
事項	要点	備考
1-2 地すべりブロック形状	<p>【確認事項】</p> <p>大滝地区の前面すべりに対する安定解析のための想定ブロックは、以下の点より、すべり面下の「河床堆積物の分布範囲」の下面をブロック下面として考えるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大滝地区前面すべりは、すべり面下に数mの厚さで「未固結層（河床堆積物）」が存在する。 ・この河床堆積物は、貯水位変動に伴う細粒分の洗い出しなどにより、不動岩盤の場合に比べ、変形・変位が発生しやすいと考えられる。 	
 <p>No. A 測線</p>	<p>(大津古谷)</p> <p>大滝地区 No. A 測線 地質断面図 S=1:1,000</p> <p>SWL(323m)</p> <p>国道</p> <p>すべり面</p> <p>すべり面</p> <p>安定解析のための想定ブロック範囲 (河床堆積物下面)</p> <p>安定解析のための想定ブロック範囲 (河床堆積物下面)</p> <p>← 吉野川上流</p> <p>240</p>	

1. 設計条件の確認

1-2 地すべりブロック形状

安定解析を実施するための想定ブロック

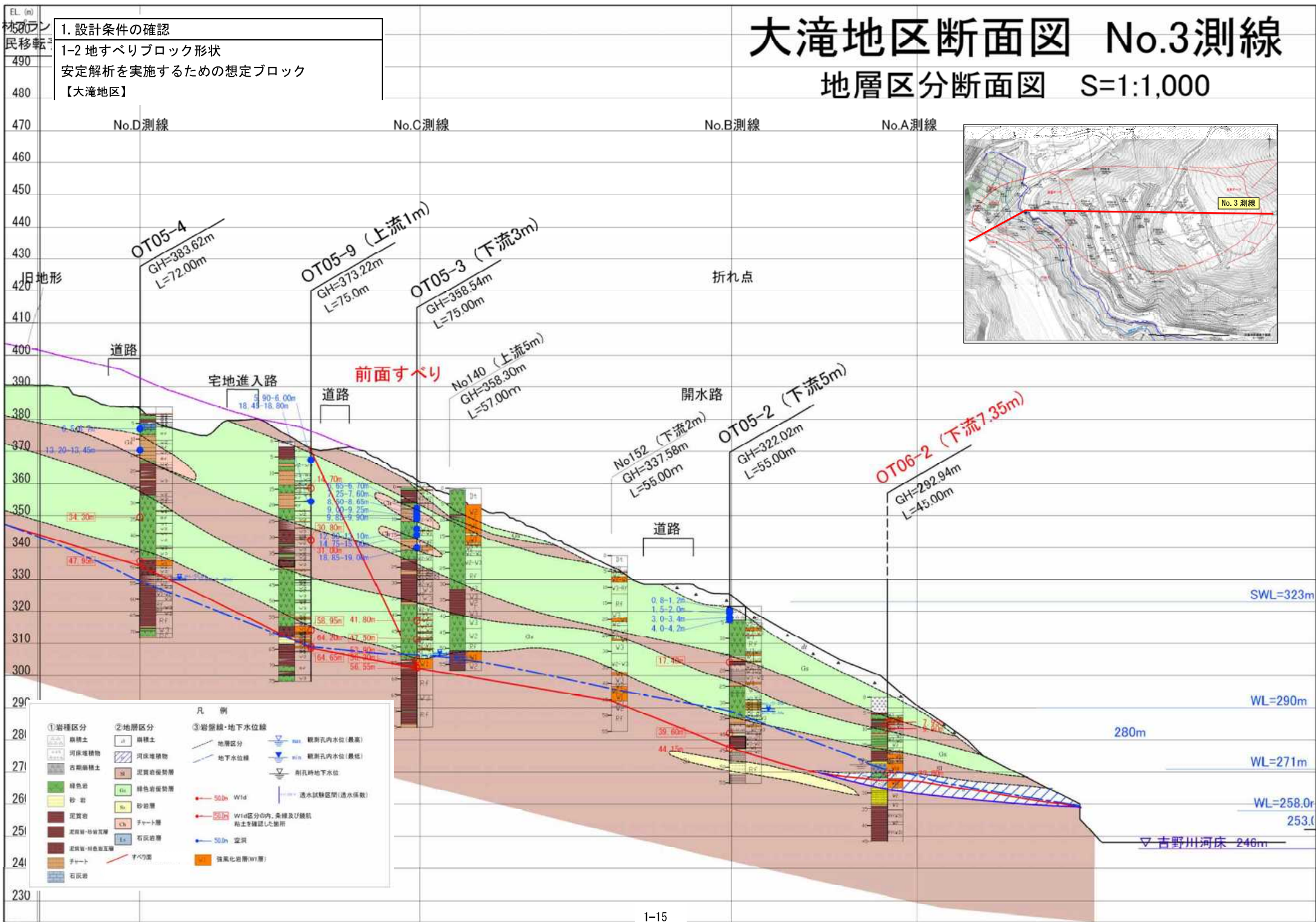
【大滝地区】



大滝地区
地質平面図 S=1:2000

大滝地区断面図 No.3測線

地層区分断面図 S=1:1,000



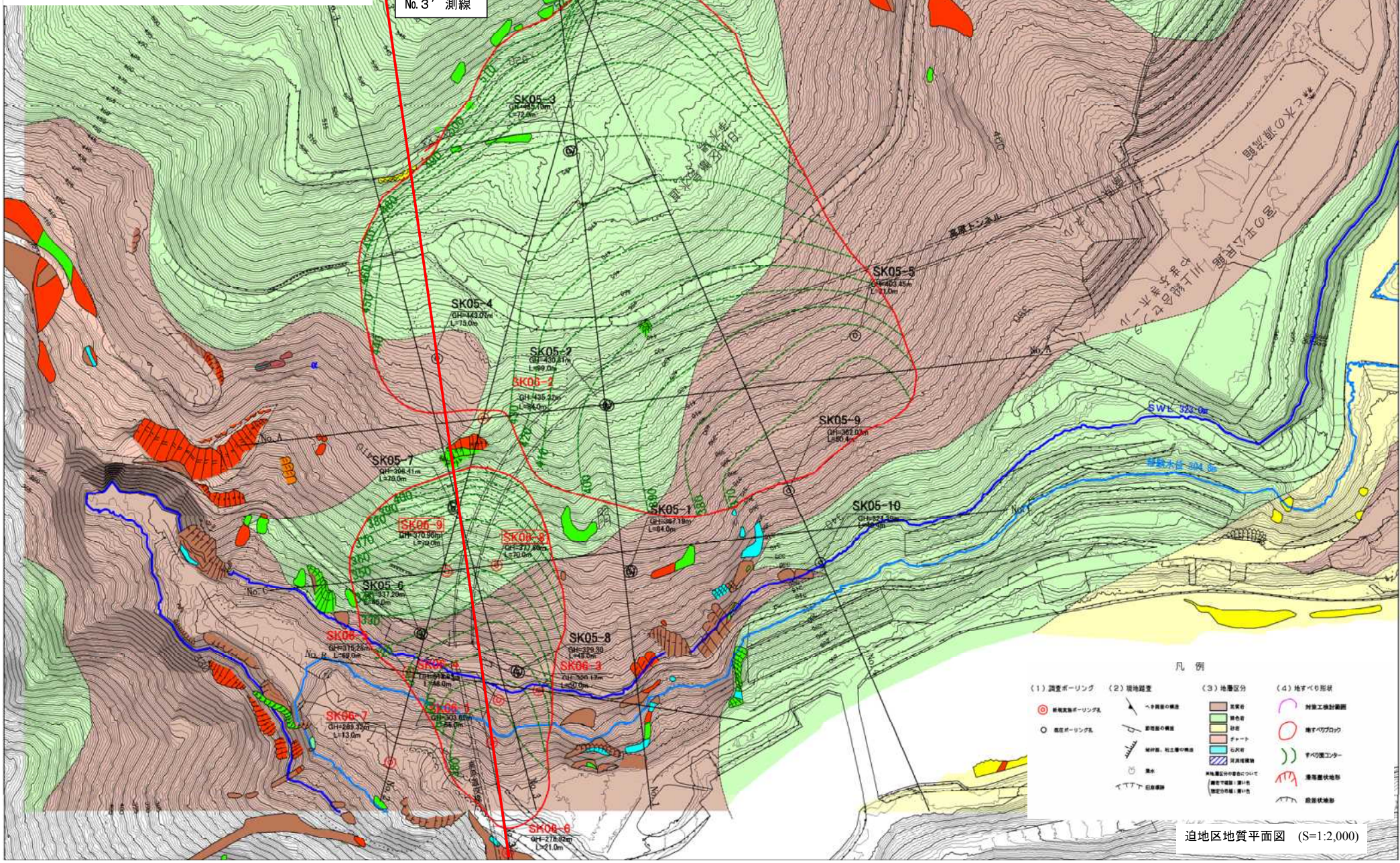
1. 設計条件の確認
 1-2 地すべりブロック形状
 安定解析を実施するための想定ブロック
 【大滝地区】

No.D測線 No.C測線 No.B測線 No.A測線

凡例

①岩種区分	②地層区分	③岩盤線-地下水位線	観測孔内水位(最高)
腐植土	腐植土	地層区分	観測孔内水位(最低)
河床堆積物	河床堆積物	地下水位線	南孔時地下水位
古期腐植土	泥質岩優勢層	50b Wid	透水試験区間(透水係数)
緑色岩	緑色岩優勢層	50n	Wid区分の内、条層及び鏡板粘土を識別した箇所
砂岩	砂岩層	50d	空洞
泥質岩	チャート層	50a	強風化岩層(W1層)
泥質岩-砂岩互層	石灰岩層		
チャート	すべり面		
石灰岩			

1. 設計条件の確認
 1-2 地すべりブロック形状
 安定解析を実施するための想定ブロック
 【迫地区】

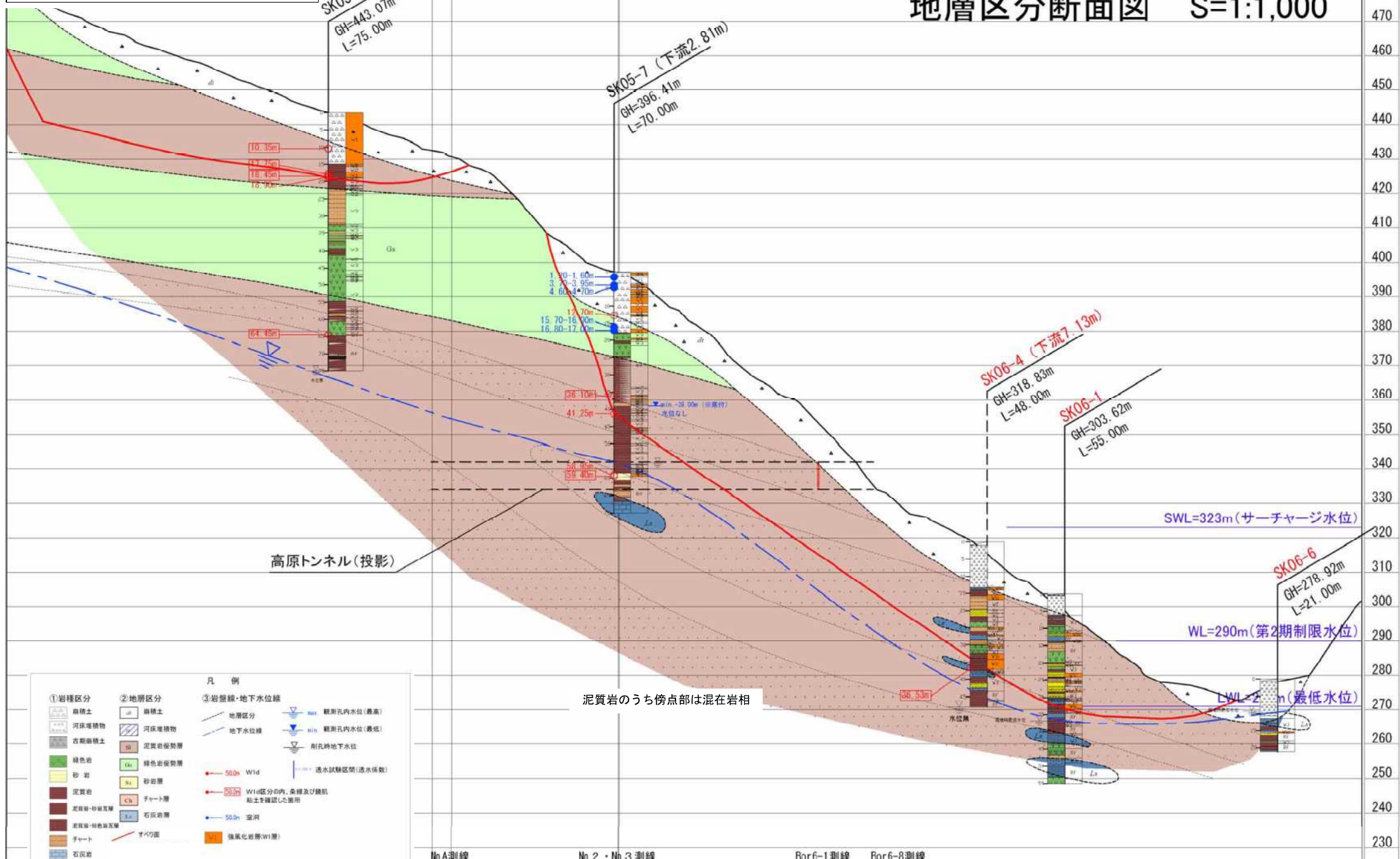


迫地区地質平面図 (S=1:2,000)

1. 設計条件の確認
 1-2 地すべりブロック形状
 安定解析を実施するための想定ブロック
 【迫地区】

迫地区断面図 No.3'測線

地層区分断面図 S=1:1,000



① 岩種区分		② 地層区分		③ 岩盤線・地下水位線	
	麻積土		河床堆積物		地層区分
	古礫堆積土		泥質岩優勢層		地下水位線
	緑色岩		砂岩層		観測孔内水位(最高)
	砂岩		チョート層		観測孔内水位(最低)
	泥質岩		石灰岩層		耐孔時地下水位
	泥質岩-砂岩互層		オペリ面		透水試験区間(透水係数)
	泥質岩-緑色岩互層		50.0m 空洞		50.0m W/d 区内、条線及び軌跡粘土を認識した箇所
	チョート		強風化岩層(W1層)		
	石灰岩				

泥質岩のうち傍点部は混在岩相

No.4測線 No.2・No.3測線 Bor6-1測線 Bor6-8測線

490
480
470
460
450
440
430
420
410
400
390
380
370
360
350
340
330
320
310
300
290
280
270
260
250
240
230
220